

5. 広報活動

霊長類研究所では、広報委員会が下記の広報行事を行って研究所の活動を所外の方々に紹介している。また、リーフレット・ホームページを通じても広報活動を行い、一般の方からの霊長類についての質問や、マスコミ取材の問い合わせにも随時対応している。

5.1 公開講座

犬山公開講座「サルに学ぶ」

2019年7月28日（土）、29日（日）に霊長類研究所で開催した。参加者は28日が64名、29日が61名であった。四つの講義（鈴木樹理「動物の福祉を考えてみよう」、服部裕子「チンパンジーのリズム感から音楽の起源をさぐる」、古賀章彦「夜行性になった猿：夜ふかしばかりしているとキミも夜行性になるかも」、江木直子「初期霊長類がいた世界を哺乳化石からさぐる」）と、五つの実習（形態学「骨のかたちの意味を考える」：濱田穰、心理学「チンパンジー観察」：友永雅己・足立幾磨・林美里、生態学「日本モンキーセンターでサルから学ぼう」：マイケル・ハフマン、遺伝学「SNP解析による遺伝子診断～アルデヒド脱水素酵素遺伝子(ALDH)の1塩基型～」：田中洋之、脳科学「ヒトにとっての音楽」：脇田真清）を実施した。

5.2 第29回市民公開日

2019年10月27日（日）に霊長類研究所で開催した。参加者は68名であった。Michael A. Huffman 准教授の講演「インド洋の楽園、スリランカとそのサルたち」と所内見学を行った。

5.3 オープンキャンパス・大学院ガイダンス

大学の学部学生を主な対象として、大学院ガイダンスを兼ねた2019年度のオープンキャンパスを、2020年2月18日、19日に開催した。18日は、霊長類研究所の11分科の教員による講演、所内見学、大学院入試の説明、および大学院生・研究員も参加した懇談会を行った。19日は、それぞれの参加者が希望する二つの分科の研究室を訪問し、各分科の教員と懇談した。参加者は18日が23名、19日が20名であった。
(広報委員長)